

第1回 令和6年度地方創生ストリートミーティング ～鳥取市出身学生編～ ご意見と対応方針

No	ご意見・ご提言	対応方針	担当課
1	交通インフラが大事だが、発展のためには利用が多くないといけない。お店とも連携してキャンペーンを行うことも良いと思う。	令和5年度から導入している、鳥取県東部地域の路線バス等が1日乗り放題となる電子チケット（ノルデチケット）は、圏域の40店舗と連携して割引サービスなどお得な特典を付与しています。 また、実証運行している乗合交通「とりモビ」においても協賛店舗で特典を受けることができるキャンペーンを展開しております。引き続き、各方面と連携して公共交通の利用促進を図っていきます。	交通政策課
2	住みやすさが幸福度に影響しているという研究があり、買物や交通インフラのほかスポーツイベントの充実も効果的ではないかと思う。	本市では、「鳥取市スポーツ推進計画」を策定し、「すべての市民がいつでもスポーツ活動を実践できる環境を整え、スポーツ活動を通して、生涯にわたって活力に満ちた豊かな生活を送ることができる鳥取市」の実現をめざしています。 市民体育祭やスポーツ・レクリエーション大会の開催のほか、AxisバードスタジアムにおけるJリーグ等のサッカー大会の開催、鳥取市民体育館エネトピアアリーナにおけるトップアスリートによるスポーツクリニックの実施など、今後も、スポーツ活動の実践環境やスポーツイベントの充実に努めていきます。	生涯学習・スポーツ課
3	今鳥取にいる学生を取り込まないといけない。鳥取大学から鳥取県で就職する人はそこまで多くないのではないか。	令和6年3月卒業生の鳥取大学と公立鳥取環境大学の県内就職率は約2割となっており、若者の地元定着は地域の重大な課題となっています。県などと連携を図り、学生が県内企業や地域の良さを知る機会を創出し、県内就職率の向上に努めていきます。	経済・雇用戦略課

4	<p>インターンシップは学生側から申し込まないといけないが、企業側からもっと積極的にいけるようにする仕組みがあれば良い。</p>	<p>本市では、進路選択前の高校生を対象に、地元企業についての探求学習と職場体験を組み合わせたプログラムを提供し、地元企業の魅力を深く学んでいただき、地元就職や将来的なUターンにつなげる取り組みを行っています。</p> <p>また、就職情報サイトの掲載料、県外の就職イベント（企業説明会等）への参加費や旅費を補助する制度を設け、市内企業の積極的な採用活動を支援しているところです。</p> <p>高校生、大学生に向けた市内企業のPRに一層取り組んでいきます。</p>	<p>経済・雇用戦略課</p>
5	<p>雇用の選択肢が少ないのを解決する手段として、製造業の誘致、サテライトオフィス、IT企業の誘致がカギかと思う。</p>	<p>本市ではこれまでも雇用の確保に向けて、製造業の誘致、サテライトオフィス、IT企業の誘致を進めてまいりましたが、今後も鳥取県と連携しながら、積極的な誘致活動を続けていきます。</p>	<p>企業立地・支援課</p>
6	<p>若者の流入のためには、他地域との差別化による魅力発信、鳥取でも活躍できるというロールモデルの発信が重要。鳥取で起業された方をロールモデルとして宣伝することで、起業家が増えたり、若者に魅力を感じてもらえるのではないかな。</p>	<p>本市では、中心市街地において、企業誘致や起業・創業スタートアップ支援などの拠点となる施設の整備に向けた検討を進めています。この取組の中で、市内の成長企業や起業家などとも連携しながら、若者のチャレンジを応援するまち「鳥取市」を発信していくことで、若者の流入につなげていきたいと考えています。</p> <p>また、移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」には鳥取市で活躍されている先輩移住者のインタビューを掲載しており、さらに認知度が高められるよう、SNSと連携して更新の頻度を増やし、積極的に情報発信していきます。</p>	<p>企業立地・支援課 地域振興課</p>

7	子育てをするうえで駅周辺に大きな広場があれば良い。駅の近くで長時間座れる場所がない。	<p>本年6月に策定した「鳥取駅周辺再生基本計画」の中で、基本方針の1つとして「まちなかへ賑わいを滲み出す空間整備」を掲げ、若者や子育て世代の憩いの場となるような空間整備を目指しています。</p> <p>基本計画をもとに、若い世代や子育て世代の方を対象としたワークショップの実施や、鳥取駅周辺再整備事業に関するアンケートを随時募集しており、いただいたご意見をもとに、若い世代や子育て世代の方がしやすい空間整備を検討していきます。</p>	まちなか未来創造課
8	親子で参加できる子育ての集まり、同じ悩みを持つ方の集まりがあれば良い。	<p>現在鳥取市では、産後サロン（産後間もない母親と赤ちゃんが交流する場）や各地区の子育てサークルを支援しており、保護者同士の交流の場や子育て不安の解消の場となっています。</p> <p>また令和7年度は、子育て支援団体や保護者同士の交流の場、地域全体で子育てを行うためのネットワークづくりの機運の醸成を目的とした「子育てフェスタ」を実施する予定です。</p>	こども家庭センター
9	商店街やショッピングモールでワークショップを開催して幅広い人に鳥取の魅力を知ってもらうことが大切。梨の試食やジオパークの映像を流すなど、鳥取の魅力を発信していくことが大事。	<p>本市では、観光地や特産品の魅力を広めるためのPRイベントを開催するとともに、まちづくりをテーマに意見交換やアイデアを共有するワークショップを開催しています。</p> <p>集客力の高い商店街やショッピングモールでのイベントの開催は、地元住民を含め、多くの方々に本市の魅力を効果的に発信する機会と考えています。</p> <p>今後もイベント内容や体験コンテンツの工夫をしながら、幅広い層に鳥取市の魅力を効果的に発信できるよう取り組みを進めていきます。</p>	地方創生推進室

10	<p>外から見ると魅力的なのに地元の方は当たり前になっていて気付かないことがある。Iターン就職者、観光客など幅広く声を聴いてみるのが良い。</p>	<p>本市では、Iターン就職者を含む移住者の方々から定期的にご意見を伺う機会を設けるとともに、観光客を対象としたアンケート調査を実施し、その結果を分析して魅力発信や施策の立案に活用しています。 今後も、移住者や観光客の皆様をはじめ、幅広い層からご意見を伺う機会の充実に努めていきます。</p>	<p>地方創生推進室 地域振興課 観光・ジオパーク推進課</p>
11	<p>移住制度があるが認知が足りていないのではないか。</p>	<p>移住定住ポータルサイト「とっとりコネクト」の認知が高められるよう、効果的な手段等を検討していきます。</p>	<p>地域振興課</p>